



教育委員会
たより
 シャイニング

責 文
 伊平屋村 伊平屋村
 教育委員 教育委員
 金子 智彰



三校合同研修会

ライフスキル教育新職員セミナー開催
 「新学習指導要領を踏まえたライフスキル教育」とは

五月十九日(土)、伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、伊平屋村三校合同研修会「ライフスキル教育」新職員セミナーが新任職員及び管理職、教育委員会職員、役員・新職員の計三十六名の参加のもと開催されました。今年で毎年二回(五月・八月)、外間氏と篠田氏をお招きして開催しています。教育課程に位置づけて五年目となる今、全教師が特別活動や教科の中でライフスキルの手法を取り入れて、「島発ち教育」につなげる実践を行っています。

一学期間は、日常的にライフスキル教育の授業実践ができるようにするための『手立て』と位置づけています。去る四月二十四日には、伊平屋中学校での三校合同研修会を開催し、ライフスキル教育を取り入れた田中聖子教諭による国語科「聞き上手、話し上手になるために」スピーチの研究授業及び授業研究会を行いました。ライフスキルプログラムと関連付けられた「聞く・話す」のスキル定着、ロールプレイや振り返りの手法は、今年度のライフスキル教育の方向性を示すものとなりました。

セミナー開催へのご尽力、講師紹介をなさった外間宏治氏、講師の篠田康人氏にはセミナー、講評等をして頂き、この場をかりて心より感謝申し上げます。

模擬授業



当日は準備セミナー及び師範授業、参加者による模擬授業(小学校二本・中学校一本)が行われました。主体的に活動できるように「安全で安心できる集団形成」「困難を上手に乗り越えるコツ指南(同じ失敗を繰り返さないコツ)」に直結するような授業展開をまず篠田氏が提案しました。模擬授業の内容は「本当の自信」(思春期のライフスキル教育単元2)です。

模擬授業後、参加者はグループに分かれ、三つのテキスト内容をもとに授業展開を授業者として考え、提案する場が設けられました。



一年生単元2
 授業1 「止まる、見る、聞く」
 目的 子供たちが上手な話の聞き方とはどのようなものなのかをわかり、練習することが出来る。
 手作り「聞き方信号機」を使い、電車ごっこを通して、色に合わせて「止まる(赤)、見る(黄)、聞く(青)」を練習しました。
 幼稚園、役場新職員、小学校低学年担任が会場全体を使い、楽しく動作化させることとで「止まる・見る・聞く」を覚えさせました。



三年生単元1
 授業3 「何かをあげて大きくなるう」
 目的 子供たちがいろいろな「あげる」方法を教える、互いに何かを「あげる」実践する機会を与え、日々の生活の中で「やさしさプレゼントグラフ」に日頃やってあげる・物」をあげる(やさしさ・ほめる・えさを増やす練習をしました)。「ほめる・教指して」を増やしていきける学級づくりを今後目指す。



中学生単元2
 授業1 「本当の自信」
 目的 自己自身の好きな経験や能力・技能の認識とさらにそれを発展させることによる自信の強化。
 自己自身の「できること・伸ばそうとして行動」を書くことで、バランスよく「自信」をつける意欲、見方を身に付けるための場になりました。

やり方を知らせる、やってみせる(情報とスキル)、やらせてみる(練習)のスキル練習が次の八月研修まで増え、「深い学び」につながるようになった今回のセミナー研修となりました。